



## 狂者

池田 草菴

今の儒士動もすれば輒ち狂者狂者と曰ひ、以て自ら比擬するも、蓋し自ら知らざる者と謂ふ可く、又古人を知らざる者と謂ふ可し。夫れ狂者は高明快活、爽朗超脱、乃ち夫の曾点志を言ふに、舞雩浴沂、三々兩々、絶えて夫の富貴功名鄙俗塵土を以て吾が胸中を礙さまたけげざるに視くぶれば、其の識見興趣、如何でか及ぶ可けんや。今其の庸陋の資、齷齪の意を以て、終日營々、區々たる名利の間に従事して而も妄りに自ら量らず、以て相比擬す。吾故に曰く、自ら知らざる者なり、而して又古人を知らざる者なり、と。

（肄業余稿、一七九条。原漢文）